



R用再
A再生
Vれブニッ
4たラック
新型採の

豊田通商系

トヨタSUVに 再生プラスチック供給

豊田通商子会社のプラニック（静岡県御前崎市）が製造するASR（自動車破碎残さ）由来の再生プラスチックが、トヨタ自動車のスポーツ多目的車（SUV）である新型「RAV4」のボディーアンダーカバーに採用された。

車破碎残さ由来 2例目

小島プレス工業（愛知県豊田市）が同PLAを原料に同カバーを製造する。ASR由来を主とした再生コンパウンドペレット（PLA原料）が、国内のトヨタ車の単一部品に100%使用される初の事例という。プラニックとして7月に発売されたSUV「クラウンスポーツ」のフロントフェンダーシールに次ぐ2例目のトヨタ車の採用となった。

同カバーは走行中の飛び石や水、泥などから車体を保護するため車両底部に取り付ける大型の部品。空力性能の向上や燃費改善に寄与し、耐久性や強度、寸法精度など高い品質が求められる。プラニックの高度な選別技術によって製造された再生コンパウンドペレットがトヨタの厳しい品質基準をクリアした。